

# 他都県環境研究機関の 取組について

令和5年12月 環境政策課政策室

# ○ 近郊の環境研究機関との比較

	研究所名	所在地	施設規模	建築年	職員数 (R5)	予算規模(R4)	備考
	千葉県環境研究センター	①稲毛地区 ②市原地区	①水質棟(地上3階) 地質棟(地上2階) 敷地面積: 6,614m <sup>2</sup> 延床面積: 4,251m <sup>2</sup> ②本館(地上2階) 新館(地上3階) 敷地面積: 13,295m <sup>2</sup> 延床面積: 2,904m <sup>2</sup>	①水質棟 S50(築48年) 地質棟 S40(築58年) ②本館 S43(築55年) 新館 H6(築29年)	① 25名 ② 16名 計 41名	163,317千円	
1	東京都環境科学研究所	江東区 (東陽町駅から 徒歩10分)	地上6階 敷地面積: 7,280m <sup>2</sup> 延床面積: 7,536m <sup>2</sup>	S60(築38年)	54名 ※R2	105億4千万円 ※公社のR5予算	(公財)東京都環境公社 の一機関
2	神奈川県環境科学センター	平塚市 (平塚駅からバ ス10分)	地下1階 地上4階 敷地面積: 4,218 m <sup>2</sup> 延床面積: 7,098 m <sup>2</sup>	H3(築32年)	35名 ※R4	376,123千円 ※R3決算	
3	埼玉県環境科学国際センター	加須市 (加須駅or鴻巣 駅からバス15 分)	地上3階 敷地面積: 40,000m <sup>2</sup> 延床面積: 8,722m <sup>2</sup>	H12(築23年)	40名	302,097千円 ※R3	
4	茨城県霞ヶ浦環境科学センター	土浦市 (土浦駅からバ ス25分、降車 後徒歩20分)	地上2階 敷地面積: 31,000m <sup>2</sup> 延床面積: 5,000m <sup>2</sup>	H17(築18年)	40名	206,591千円 ※R3	

# (1) 東京都環境科学研究所

## ➤研究

- ・自動車環境対策、プラスチック、都市ごみ、温暖化・気候変動に関する研究を実施

## ➤外部有識者による研究評価

- ・外部有識者で構成される東京都環境科学研究所外部研究評価委員会で研究課題の評価（事前、中間、事後）を実施

## ➤環境学習

- ・未実施
  - ※（公財）東京都環境公社において実施

## ➤その他

- ・（公財）東京都環境公社の一機関として運営されている。

## (2) 神奈川県環境科学センター

### ➤ 研究

- ・ PM2.5、光化学オキシダント、プラスチック、騒音に関する研究を実施
- ・ 国環研・大学等だけでなく、県他部局の研究機関（県自然環境保全センター、県農業技術センター、県温泉地学研究所）とも共同研究を実施

### ➤ 外部有識者による研究評価

- ・ 外部有識者で構成される調査研究推進委員会で研究課題の評価（事前、中間、事後）を実施  
※宮脇委員（明星大学理工学部教授）が参画

### ➤ 環境学習・機材貸出等

- ・ 環境学習リーダー養成講座を実施（R3：5回、93名）
- ・ 環境学習用機材の貸出

# (3) 埼玉県環境科学国際センター

## ➤研究

- ・公害系について網羅的に実施しているほか、温暖化・気候変動に関する研究を実施
- ・国の補助金・基金等を活用し、国環研・大学等の外部との共同研究を多く実施（R3：44課題）  
※早稲田大学、埼玉大学、立正大学と研究交流協定等を締結

## ➤外部有識者による研究評価

- ・外部有識者で構成される研究審査会で研究課題の評価（事前、中間、事後）を実施  
※宮脇委員（明星大学理工学部教授）が参画

## ➤展示・環境学習

- ・敷地面積は千葉県環境研究センター(稲毛地区、市原地区の合算)の約2倍(約4ha)
- ・ビオトープ(生態圏)を併設
- ・体験型の展示館(アトラクションでごみ、温暖化、自然保護、大気、水問題の体験等) ※有料
- ・来館者数 R3：31,667人(直近) H30：53,341人(新型コロナ禍前)
- ・環境科学専門人材育成講座を開催(彩の国環境大学)(R3：10回、43名)
- ・公開講座を実施(生態圏体験、実験)(R3：20回、787名)

## (4) 茨城県霞ヶ浦環境科学センター

### ➤研究

- ・霞ヶ浦のほとりに設置され、霞ヶ浦の水質浄化等に関する研究等に注力
- ・国環研・大学等との共同研究を実施（R3：14事業中9事業が水質分野）

### ➤外部有識者による研究評価

- ・外部有識者等で構成される機関評価委員会で年度評価および中期運営計画期間（5か年）の実績評価を実施（環境学習等も評価対象）

### ➤展示・環境学習

- ・敷地面積は千葉県環境研究センター(稲毛地区、市原地区の合算)の約1.6倍(約3.1ha)
- ・既存樹木を活かした広場、ビオトープ(生態圏)等を併設
- ・体験型の展示館(環境問題、霞ヶ浦の水環境・生態系、歴史とくらし等の展示学習、映像ゲーム、デジタル絵本、AR体験、クイズ、ジオラマ等) ※無料
- ・来館者数 R3：25,596人(直近) H30：54,274人(新型コロナ禍前)
- ・霞ヶ浦湖上体験スクール事業(R3：231回、102団体、4,458名)
- ・展示室・研修室等を活用した体験型環境学習(展示室見学、水質調査・プランクトン観察、庭・池の野外観察)(R3：193回、3,988人)
- ・出前講座(R3：18団体・24回、762名)

# 【参考文献等】

	研究所名	参考文献、資料
	千葉県環境研究センター	①千葉県環境研究センター年報 第21号（令和3年度）（令和5年3月）
1	東京都環境科学研究所	①東京都環境科学研究所 パンフレット ②東京都環境科学研究所 ホームページ ③（公財）東京都環境公社 令和2年度 事業計画書（令和2年3月）
2	神奈川県環境科学センター	①神奈川県環境科学センター パンフレット ②神奈川県環境科学センター 令和4年版(2022)年報 第54号（令和5年3月）
3	埼玉県環境科学国際センター	①埼玉県環境科学国際センター パンフレット ②埼玉県環境科学国際センター報（令和3年度 第22号）（令和5年3月）
4	茨城県霞ヶ浦環境科学センター	①茨城県霞ヶ浦環境科学センター パンフレット ②茨城県霞ヶ浦環境科学センター年報 第17号（2021年）